



絶縁材料の耐コロナ性

Corona Resistance of Insulating
Materials

電力機器の大容量化は経済性向上の手段として近年ますます必要度が増大している。そのためには、まず第一に高電界化による絶縁寸法の縮小、すなわち機器の小形軽量化をはかることが必要である。また、このような大容量化には必然的に信頼度の飛躍的な向上が要求されるが、絶縁においてはすでに耐熱性に顕著な進歩がみられ、現在、技術的にもっとも重要な問題は絶縁の耐コロナ性を向上させることである。

日立製作所日立研究所では、この目的に沿って新材料および新絶縁構成法の研究が日夜進められている。写真は各種絶縁板試料の加速コロナ劣化試験の実施状況である。基礎的な研究より生まれた材料およびその構成法は多数の試料を用いた劣化試験により、その性能が十分比較検討された上で実用機器に採用されている。

(日立製作所 日立研究所)